

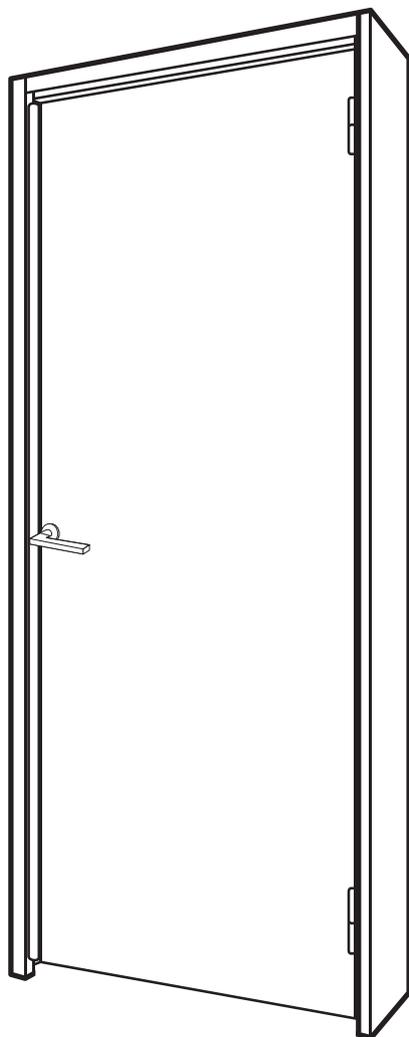
# miratap

建具

テゴーク 片開きドア

組立設置説明書 04-TGL01S-06

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。  
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。





## ●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害、物損)に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



### 警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。

屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。

やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。



枠の組立てには、同梱のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、ダンボール等で養生してください。

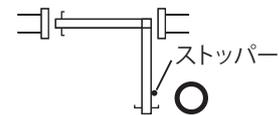
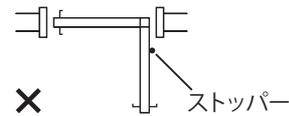


扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



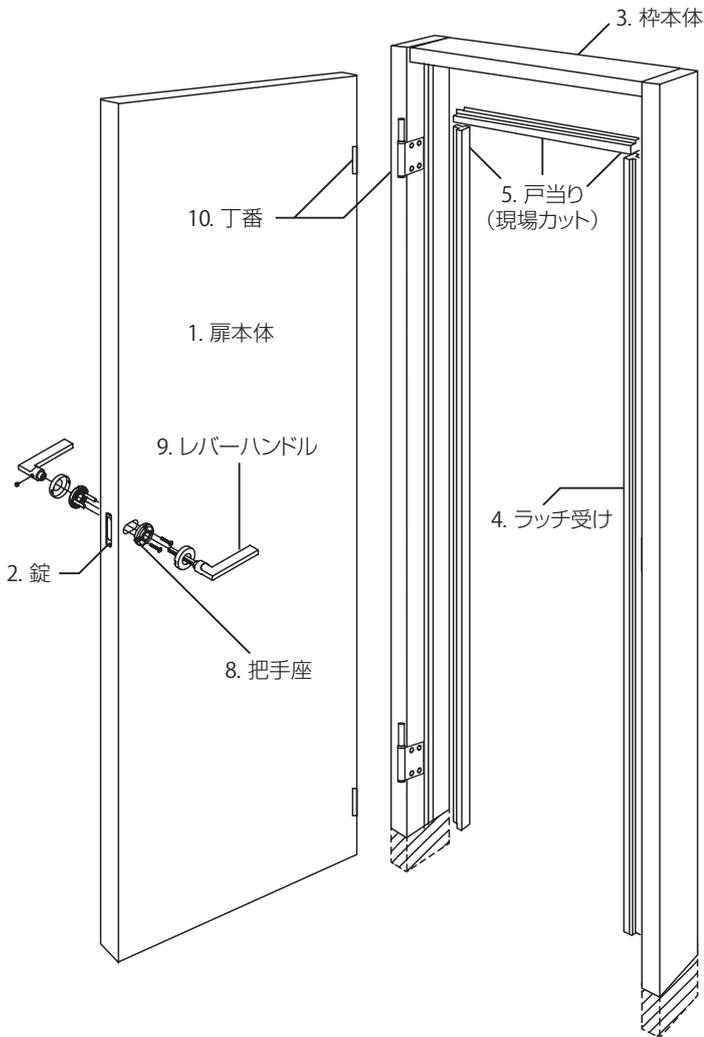
風の強い地域、吹き抜け、高層階等でガラスドアを取り付ける場合、ドアストッパーをご使用ください。強くドアが閉まると衝撃でガラスが割れる恐れがあります。

※ドアストッパーは、ドアの先端部に取り付けてください。



# 1 全体図

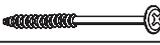
《固定枠・薄壁枠》



## 《扉》

番号	名称	数量
1	扉本体	1
2	錠(取付済)	1

## 《枠》

番号	名称	数量
3	枠本体 3方枠(縦枠2、上枠1)	1
4	ラッチ受け(取付済)	1
5	戸当たり(同梱)	縦用2 横用1
6	枠組立てビス $\phi 4.0 \times 50$ 	4
7	枠取付ビス $\phi 4.0 \times 50$ 	12

## 《把手》

番号	名称	数量
8	把手座	1
9	レバーハンドル	1

## 《丁番》

番号	名称	数量
10	丁番	2
11	丁番取付ビス $\phi 4.0 \times 20$ (扉側用)	8
12	丁番取付ビス $\phi 4.0 \times 20$ (枠側用)	8

## 《その他》

番号	名称	数量
13	組立設置説明書・取扱説明書	各1

※必ずお施主様にお渡しください。

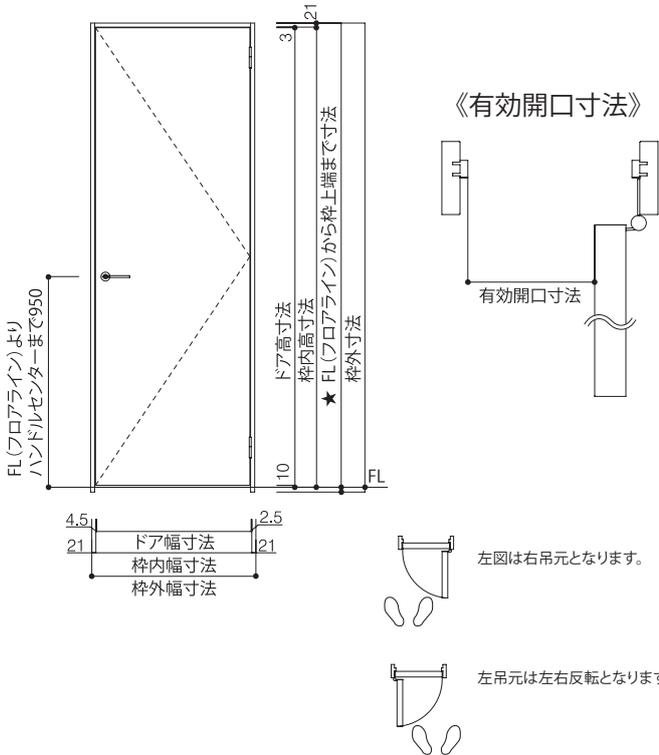
※沓摺・床見切をされる場合は別途現場にて手配してください。

※オプションの戸当り・ドアクローザーをご購入の場合は、部品箱の中に同梱しております。

## 2 寸法図

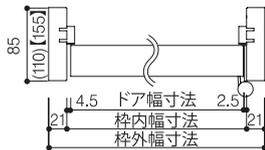
### 片開きドア

#### 《正面図》



	W650	W735	W755	W780	W825	W850	W875
有効開口寸法	548.5	633.5	653.5	678.5	723.5	748.5	773.5

#### 《横断面図》



	W650	W735	W755	W780	W825	W850	W875
ドア幅寸法	601	686	706	731	776	801	826
枠内幅寸法	608	693	713	738	783	808	833
枠外幅寸法	650	735	755	780	825	850	875

#### 《縦断面図》



	H2100
ドア高寸法	2066
枠内高寸法	2079
FL～枠上端	2100
枠外寸法	2112

※正面図は代表例の姿図です。

( ) 内寸法は枠見込み110mmの場合。[ ] 内寸法は155mmの場合。

※別注サイズの場合は☆の寸法がオーダー寸法になり、枠寸法は12mm長く納品されます。

### 3 縦断面図

	扉が換気経路になる場合	扉が換気経路にならない場合	沓摺断面図
標準納まり	<p>● 枠下端を12mmカット</p>	<p>● 枠下端を15mmカット</p>	—
薄型沓摺	<p>● 枠下端を9mmカット</p>	<p>● 枠下端を12mmカット</p>	<p>● 現場手配</p>
床見切	<p>● 枠下端を9mmカット</p>	<p>● 枠下端を12mmカット</p>	<p>● 現場手配</p>

# 4 壁厚納まり

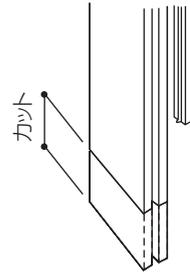
D85mm		D110mm			
	9.5mmボード	12.5mmボード		9.5mmボード	12.5mmボード
スタッド 40mm			スタッド 50mm	—	
スタッド 45mm			スタッド 60mm		
スタッド 50mm		—	スタッド 65mm		
スタッド 90mm			スタッド 75mm		—
間柱 105mm			D155mm		
			間柱 105mm		
間柱 120mm			間柱 120mm		—

## 5 施工の前に

枠下端をカットし、床に上乗せにて施工してください。

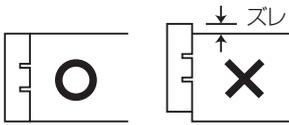
※扉が換気経路になる場合は枠のカット寸法、高さの寸法が変わります。詳細カット寸法及び納まりは縦断面図 **3** を参照ください。

※床下に配管等を設置する時は現場に応じてカットしてください。

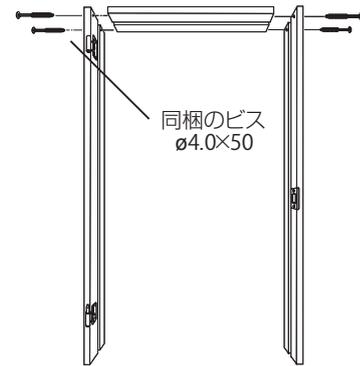


枠を組立ててください。

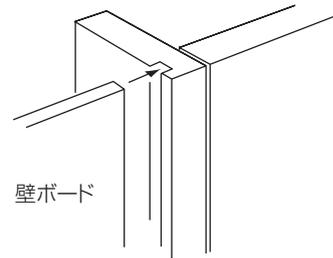
※同梱のビスをご使用ください。



※縦枠と上枠にズレがないことを確認してください。



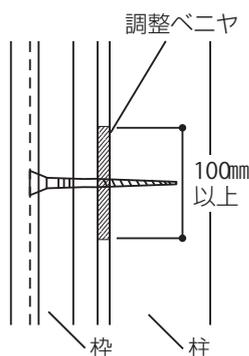
固定枠・薄壁枠の場合は、必要に応じて枠の裏側に壁ボードの溝加工を行なってください。



## 6 施工手順

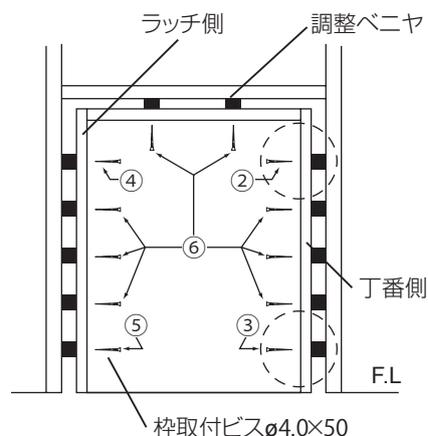
### 《開口部への枠の取付》

- ① 枠を固定する際は、枠取付ビスの部分に木工ボンド（現場手配）を塗った調整ベニヤ（幅＝柱幅程度 × 高さ＝100mm以上）を入れてください。



手順②③④⑤⑥部分の調整ベニヤは左図のように入れてください。

- ② 枠を開口部にはめこんで丁番側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠取付ビスで仮固定してください。
- ③ 下げ振りを使って垂直をだしてから、丁番側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠取付ビスで仮固定してください。
- ④ 水準器で上枠の水平を見ながらラッチ側の枠の上部を枠取付ビスで仮固定してください。
- ⑤ 下げ振りを使って垂直をだしてから、ラッチ側の枠の下側を枠取付ビスで仮固定してください。



- 調整丁番は施工後の経時変化のための微調整ですので枠の建付けを確認し、しっかりと施行してください。
- 調整ベニヤを入れないと、枠がぐらつき、丁番が破損したり、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。

- ⑥ 調整ベニヤを入れて、枠の前後、左右のたわみがないことを確認後、仮固定したビスおよび残りの枠取付ビスで本固定してください。



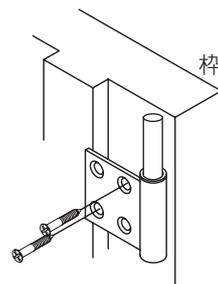
枠の水平・垂直を必ず確認してから取り付けてください。  
扉が閉まらない原因となります。



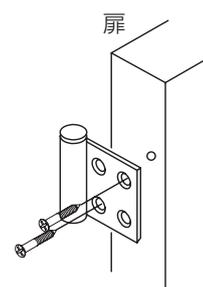
## 7 扉の吊り込み

### 《金具の取付方法》

- ①縦枠に枠側の羽根（芯棒がある羽根が枠側になります）を取り付けます。  
2箇所タッピングネジにて枠側に加工されているリード穴に合わせて仮ビス止めします。

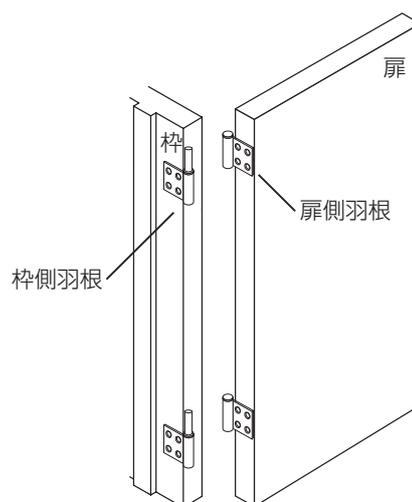


- ②ドア側の加工部にドア側羽根を取り付けます。  
2箇所タッピングネジにて扉側に加工されているリード穴に合わせて仮ビス止めします。

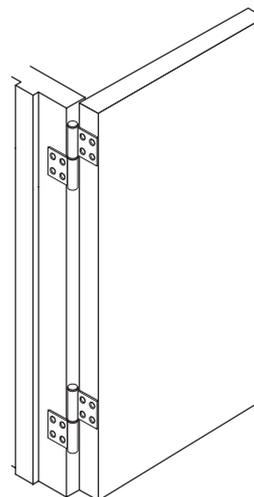


### 《吊り込み手順》

- ①枠側羽根の芯棒に扉側羽根を差し込みます。



- ②扉を閉めて枠に当たらず3方の戸当たりに均等に扉が当たるように調整しながら残りのビスを固定してください。



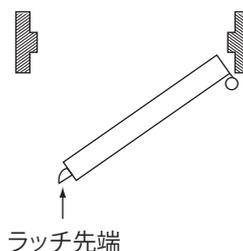
## 8 レバーの取付け

把手座とレバーハンドルを取り付けてください。  
取付方法は把手セットに同梱の取付説明書をご覧ください。

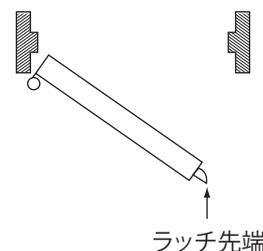
## 9 吊元の確認

吊元に対して、ラッチ先端の向き確認してください。

[右吊元の場合]



[左吊元の場合]



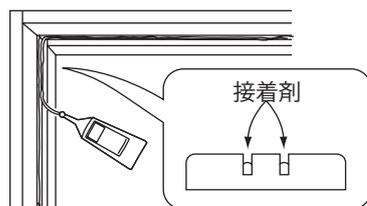
## 10 戸当りの取付け

戸当りを枠のサイズにあわせてカットし、ドア枠に接着してください。  
※必ず接着剤を使用してください。

戸当りは必ず縦勝ちで  
施工してください。

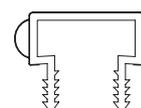


枠溝に縦2本接着剤を  
塗布してください。

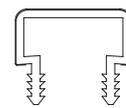


戸当りは、ラッチ側用と吊元側・鴨居  
用戸当りで断面が異なります。

ラッチ側用戸当り  
(パッキン付き)



吊元側・鴨居用戸当り  
(パッキン無し)



吊元側にパッキン付戸当りを取り付ると、開閉に支障をきたしますので、取り付る位置にご注意下さい。

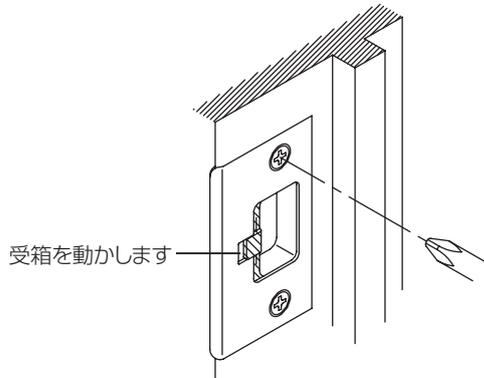


接着剤がまんべんなく行き渡るよう、上図のように塗布してください。  
接着剤の量が少ないと扉の開閉時に戸当りが外れる恐れがあります。  
戸当りを固定する接着剤は、木材同士を接着するのではなく  
樹脂と木材を接着するものを使用してください。

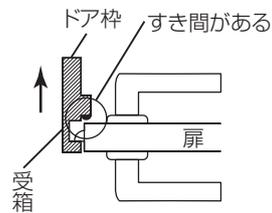
## 11 ラッチ受けの調整

### 《受箱の調整方法》

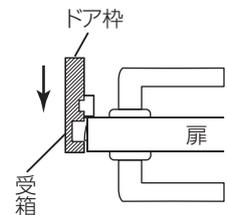
扉がガタついたり、ラッチが掛かりにくい場合は、上下ビスを緩め、中の受箱を調整してください（調整可能範囲4mm）。



#### ●ドアがガタつく場合



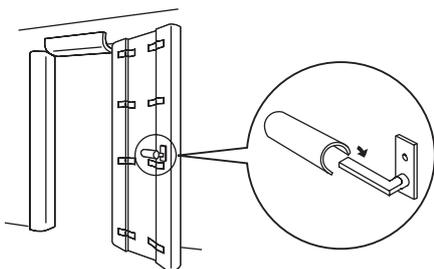
#### ●ラッチがかからない場合



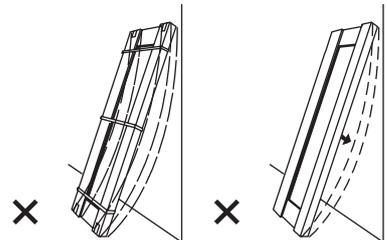
- ネジが緩んだ状態で使用すると、錠に負担が掛かり扉が開かなくなる事故に繋がる恐れがあるので、ネジの増し締めをお願いします。
- レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないでください。

## 12 養生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを枠・建具に直貼り使用すると、表面シートが剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。金具は布・ミラーマットなどで養生してください。

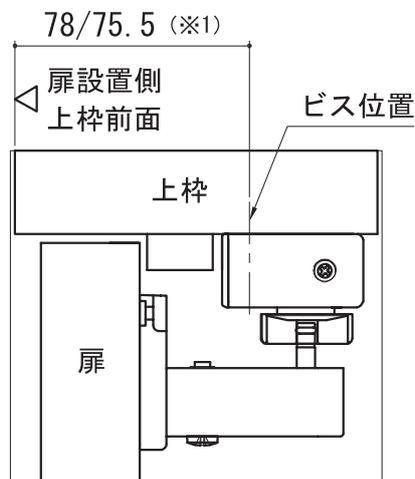


※扉は壁に立てかけて保管しないでください。反りの原因になります。



## 13 オプションドアダンパー取付けビス芯位置

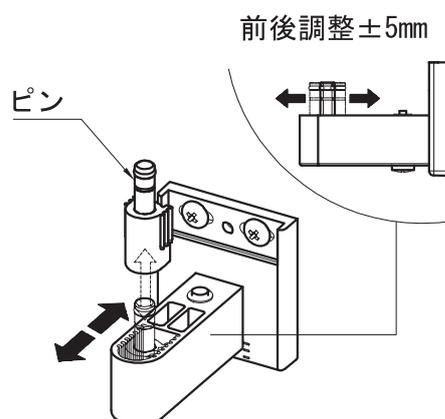
- 扉設置側の上枠前面より、ノッポ・テゴーク：78mm、CFP：75.5mmの箇所がドアダンパー取付けビス芯位置になります。
- 受け金具側の調整機能付きにより、リスト寸法内で許容あり。



	ノッポ・テゴーク	CFP
(※1) ドアダンパー取付けビス芯位置	78mm	75.5mm
85mm枠 / -5mm許容	73~78mm	(※2) 71.5~75.5mm
110mm枠 / ±5mm許容	73~83mm	(※2) 71.5~80.5mm
155mm枠 / ±5mm許容		

(※2)：戸当りにあたる為、下限は71.5mmとなります

### 受け金具



受け金具はピンの移動により、前後に±5mm調整ができます。

# miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。  
<https://www.miratap.co.jp>  
**TEL: 0120-468-838**    **FAX: 0120-382-096**

